

2017 年度春季特別展「DAYS JAPAN フォトジャーナリズム写真展」アンケート

アンケートにお答えいただいた一部をご紹介します。

- ◆他国の出来事から日本の問題まで、私が普段目にするメディアでは見たことのない内容ばかりでショックを受けました。海外の写真について自分の背景知識が少なかったのですが、DAYS JAPAN さんの説明文のおかげでより写真の中で起きていることが身近に感じられました。(10代、大学生)
- ◆目を背けたくなるような光景だったが、目を背けてはいけなと感じた。自身にできることを考え、少しずつでも行動していきたい。(20代、大学生)
- ◆自分たちの暮らしている世界とは何なのかということについて考えさせられました。知らない幸せもあるかもしれませんが、知らない怖さもある。あえて目を向けることで、平和とは何なのか今一度考えることができ良かったです。(20代、大学生)
- ◆自分が今まで考えていなかった普段の暮らしの向こう側にあった様々な写真に衝撃を受けました。(20代)
- ◆写真の力を感じた。本で読むよりも、ずっと鋭く胸に突き刺さってきた。(10代、大学生)
- ◆正しい情報を知ってそれについての行動をおこすことが大切と思った。(70代)
- ◆解説もわかりやすく、それ以上に写真のもつ力に驚きました。中でも、小さな子どもたちが学校にも行けず危険な仕事をし、血だらけで泣いている写真には心を痛めました。普段、日本にいと実感することはありませんが、世界ではこういうことがたくさん起きていると知ることが大事なのかなと思います。この特別展を通じてもっと世界の状況に目を向ける必要があると感じました。(20代、大学生)
- ◆遠い国での出来事が自分の身近なことから始まっていたり、メディアでの情報では何も感じられない事実が写真を見て苦しく感じた。日本に戦争はないけれど無関係ではなく、豊かだけとその裏に何があるのか知らないことを恥ずかしく思った。(10代、高校生)